

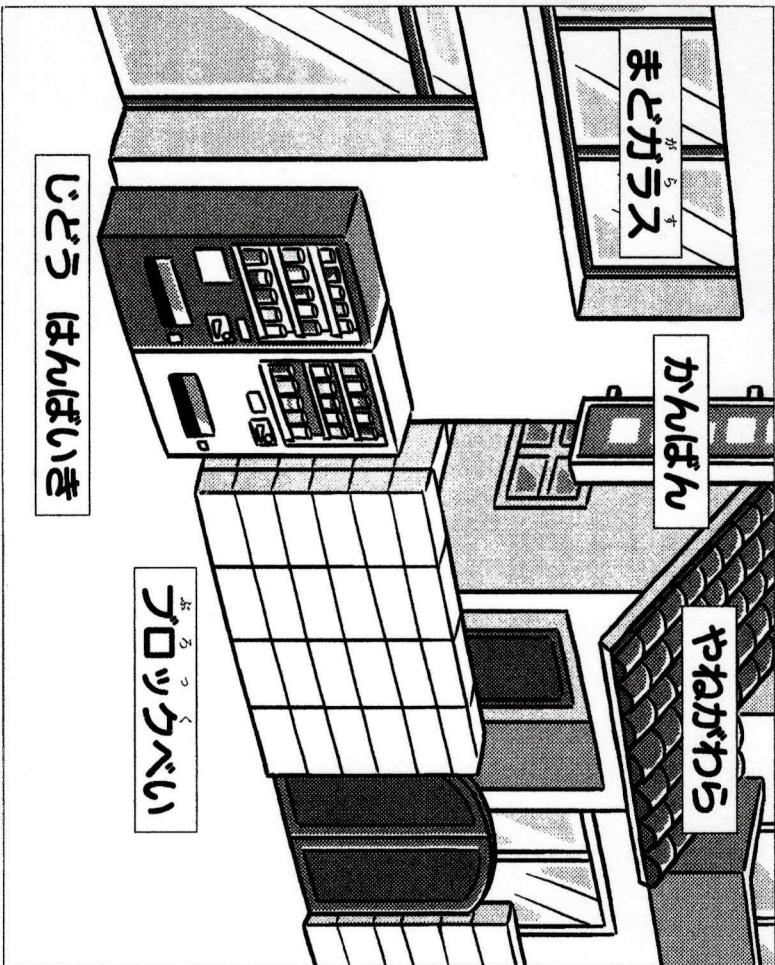
監修 全国学校安全教育研究会 / 東京都江東区立大島幼稚園 園長 村田有美子先生

屋外・屋内 地震が起きた時は、危険な場所から離れましょう

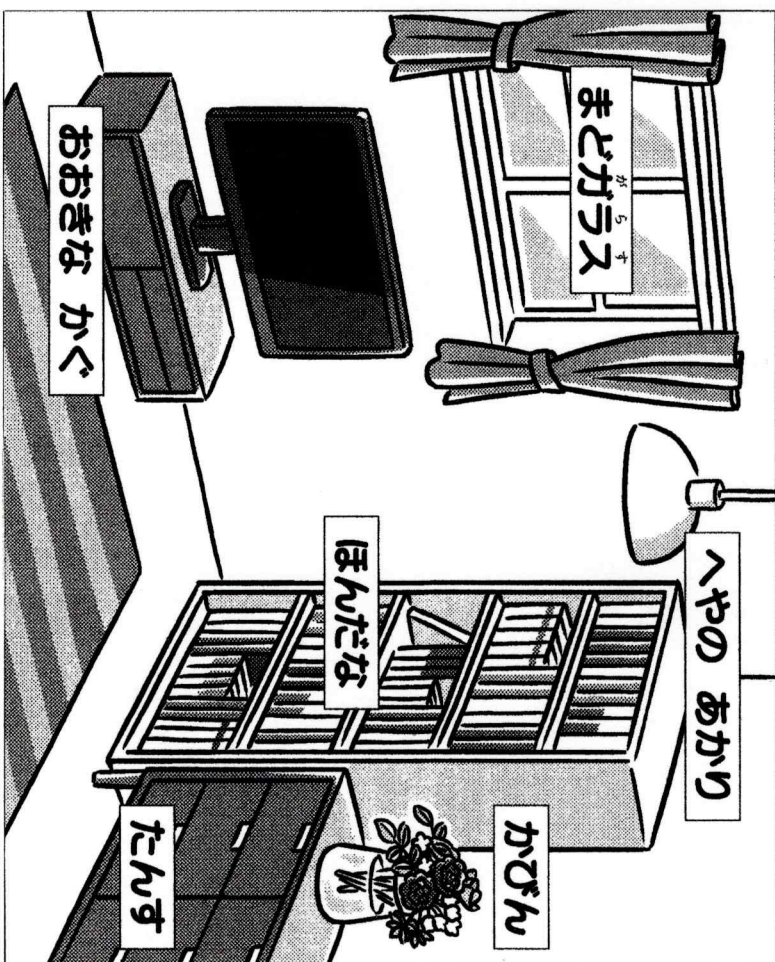
毎年9月1日は「防災の日」です。今から99年前、1923年のこの日に関東大震災が発生したことから、1960年に制定されました。世界有数の地震大国である日本。いつ発生しても不思議ではない地震に備え、どこが危険なのかを確認しておきましょう。



いえの そとでは



へやの なかでは



じしんが おきた ときは ・おちて くる もの ・たおれて くる もの ・いどうして くる ものから はなれて みを まもろう。ゆれが おわってからも ちゅうい しようね。

保護者の方へ 地震が発生した時には、落下してくるもの、倒れてくるものから、自分の身を守る事が最優先です。屋外では、屋根瓦、建物の看板、窓ガラスの破片などが落下してきます。また、自動販売機や建物の扉が倒れてくることも考えられます。屋内にいる時には、部屋にあるすべての家具が危険です。屋外・屋内を問わず、地震の揺れを感じた時には、これらのものからできるだけ離れた場所で、自分の身を守りながら揺れが収まるのを待ち、そして揺れが収まってから、落ち着いて安全な場所へ避難しましょう。

10月号では「列車を待つ時、乗り込む時」について取り上げます。